

令和二年って……

館邑会理事長挨拶

令和二年は、東京オリンピック・パラリンピックで盛大

に盛り上がる年になるかと思
っていました。しかし、「新型
コロナウイルス」が中国武漢
市から発生し、時期も中国の
旧正月である春節と重なった
ため、大勢の観光客を受け入
れた日本でも感染が広がって
しまい、「感染症と戦う年」に
なっていました。この事
は、大勢の障がい者支援を行
う、私たちにとって、「絶対に
感染を持たせない。」「感染さ
せない。」と、精神的・身体的
に辛いものがあります。可能
な限りのアルコール消毒・
日々の検温・入所通所を問わ
ず全施設、取り組んでいます。
一日も早いワクチン開発の成
功とコロナウイルスが衰退す

ることを願っています。

さて、館邑会陽光園が出来
て四十年を迎えようとしてい
ます。生活介護施設陽光園（通
所）の建物も四十年を迎えよ
うとしています。当時、自己
資金は殆ど有りませんでした。
国や館林市・邑楽町からの補
助金だけでは足りず、地域の
皆様の温かいご支援（百円募
金）を頂き、建設することが
出来ました。その建物も丁寧
に使ってききましたが、老朽化
の為、建て替えの検討が始ま
りました。地域
から通ってくる利
用者たちが快適か
つ安全に利用でき
る建物を造りたい
と思います。

理事長 山川 博

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

笑顔の花が咲くように

陽光園

陽光園が開所してから、今年
度で四十年が経過しますが、
新型コロナウイルスの影響に
より新たな生活様式でスター
トした新年度。職員も利用者
さんも特別な思いで迎えたこ
とだと思えます。そのような
状況下でも、陽光園では通常
通りの活動を続けており、利
用者さんは変わらず明るく元
氣よく登園しています。新し
い仲間も増え、現在六十四名
の利用者さんが登録されてお
り、にぎやかな毎日を過ごし
ています。日中活動では枕カ
バー伸ばし作業や段ボール組
み立て作業をはじめとし、ミ
ルクポーション分別作業等リ
サイクル活動にも携わってい
ます。そして、コロナ禍の状
況でも園外活動で身体を動か

し、季節を感じられる場所で
散策を楽しんでいます。自粛
生活を余儀なくされ、楽しみ
にしていたイベントも中止に
なっていました。制限
されている中でも影響のない
範囲で楽しく過ごしてもらい
たいという思いもあり、園の
中で豪華なお弁当を楽しむラ
ンチ会を開き、利用者さんか
ら大好評をいただきました。
自粛要請が解除されてからは、
館林特別支援学校を始め、た
くさんの見学者が訪れていま
す。厳しい毎日でも、利用者
さんの変わらない笑顔で癒さ
れ、そして職員も笑顔になる
そんな笑顔あふれる陽光園で
あり続けたいと願っています。
生活支援員
勤続7年 島田 知実